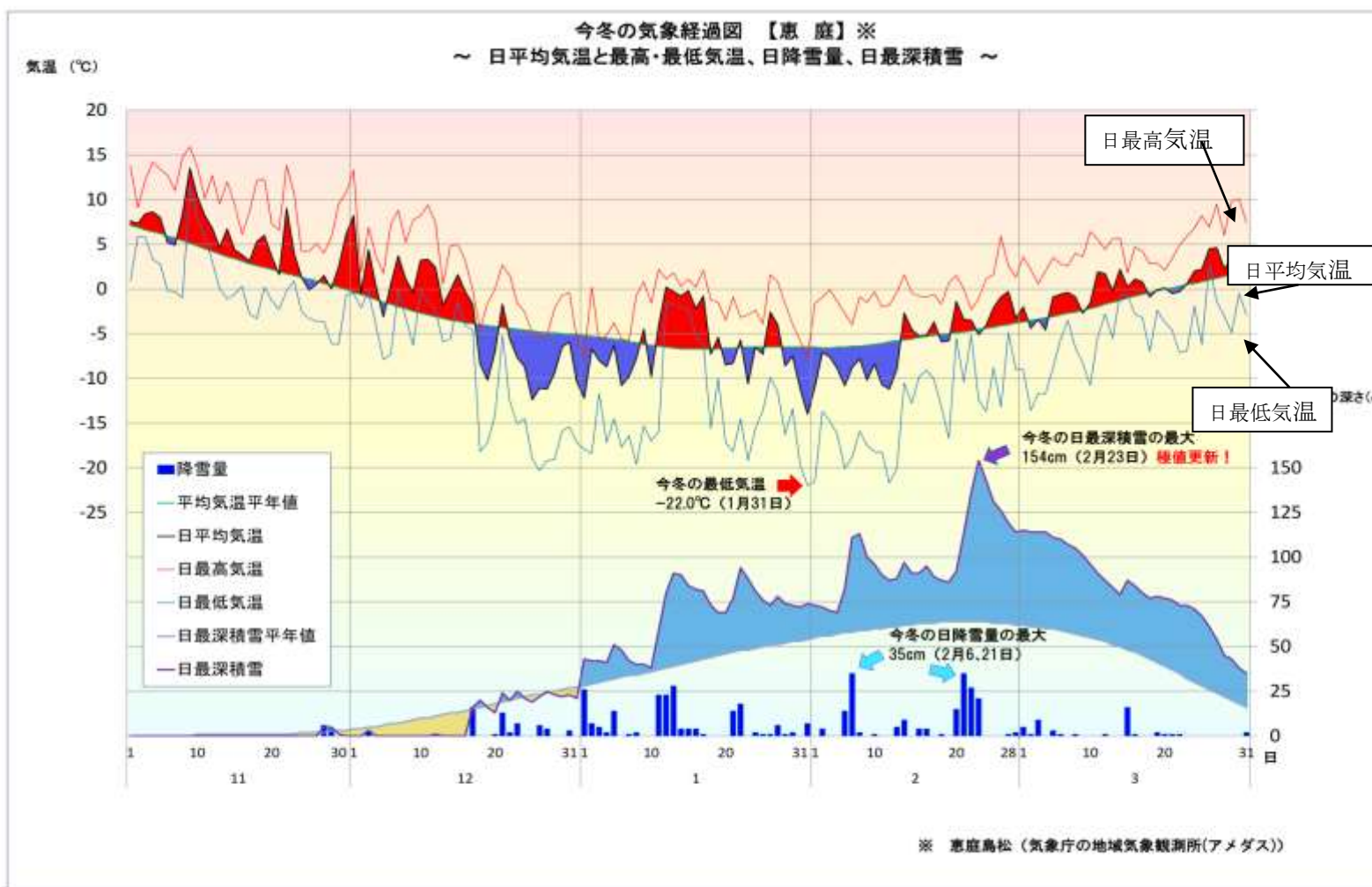


季節のまとめ

【今年の冬を振り返って】（令和3年11月～令和4年3月）



防災士 清水 為一

恵庭のこの冬の特徴は、『記録的な雪が降った』と言えます。

「月別経過」

(文中の*はその月の記録)

11月

カムチャッカ半島付近が気圧の尾根になり、中国東北区付近は気圧の谷となった。このため、北海道付近は南からの暖かい空気が流れこみやすく、シベリア高気圧は平年より弱く、寒気の南下が弱かったため、冬型の気圧配置が長続きしなかった。気温は月を通じて高く記録的な高温となった。

*月平均気温：5.4度 高い方の第2位

*日降水量：53.5mm (9日) 多い方の第3位

*日最低気温：11.5度 (9日) 高い方の第3位

*月降水量：131.5mm 多い方の第6位

12月

前半は高気圧の張り出しの中となっていて晴れた日もあったが、低気圧の影響で雨や雪の降った日もあった。また、寒気の南下が弱かったため、気温の高い日が多かったが後半は冬型

の気圧配置が続き強い寒気の流入により気温の低い日が多く、雪の降った日が多くなった。気温は、中旬以降かなり低くなった。

*日降水量：43、0mm（1日）多い方の第2位

*10分間降水量：10、0mm（1日）多い方の第1位

*日最高気温：13、3度（1日）高い方の第2位

1月」

上旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪の降った日が多く、降雪が観測されなかった日は6日だけであった。特に11日から13日にかけては猛烈に発達した気圧により大雪となり、日降雪は11日23センチ・12日23センチ・13日28センチと3日間合計で74センチとなった。降雪量の月合計は、196cmで平年の130%であった。気温は、上旬から中旬は高かったが、下旬には低くなった。

*日降水量：23、5mm（11・12日）多い方の第2位

*月降水量：102、0mm 多い方の第1位

2月」

シベリア高気圧は平年より勢力が強くアリューシャン低気圧は平年より南側で強くオホーツク海にかけて気圧が低かった。このため、北海道付近は低気圧と強い冬型の気圧配置の影響により大雪となった。特に、5日～6日にかけては強い雪雲が断続的に入ったため2日で49cmの雪が降り積雪が1mを超えた。また、20日から23日にかけて再び強い冬型の気圧配置で次々と雪雲が入り込み4日間の降雪量の合計は98cmとなり、23日には積雪が154cmと記録的な大雪となった。

*月降水量：70、0mm 多い方の第8位

*月平均気温：-4、4度 高い方の第8位

*降雪量日合計：35cm（6日、21日）多い方の第6位

*月最深積雪：154cm 全年第1位

3月」

シベリア高気圧は平年より勢力が弱かったため北海道付近は冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の流入が弱かった。高気圧に覆われた時期もあったが、大陸から日本付近にかけては低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。気温は、月を通して高く経過した。

*月日照時間：136、7時間 少ない方の第1位

【まとめ】

この冬は、2月の大雪が特徴だった。恵庭で大雪になる場合、北西の風が持続することが知られており、今年はまさしく典型的な大雪であった。北西の風が吹くということは、低気圧がオホーツク海北部にあり、（持続性の強いアリューシャン低気圧）動きが遅いことが特徴である。大雪のほかには12月は低温の時期もあったが比較的過ごしやすい冬と言える。

*この時期に冬を振り返るのは季節外れも甚だしいのですが、雑事に追われ大幅な遅れを生じたことは遺憾であります。

